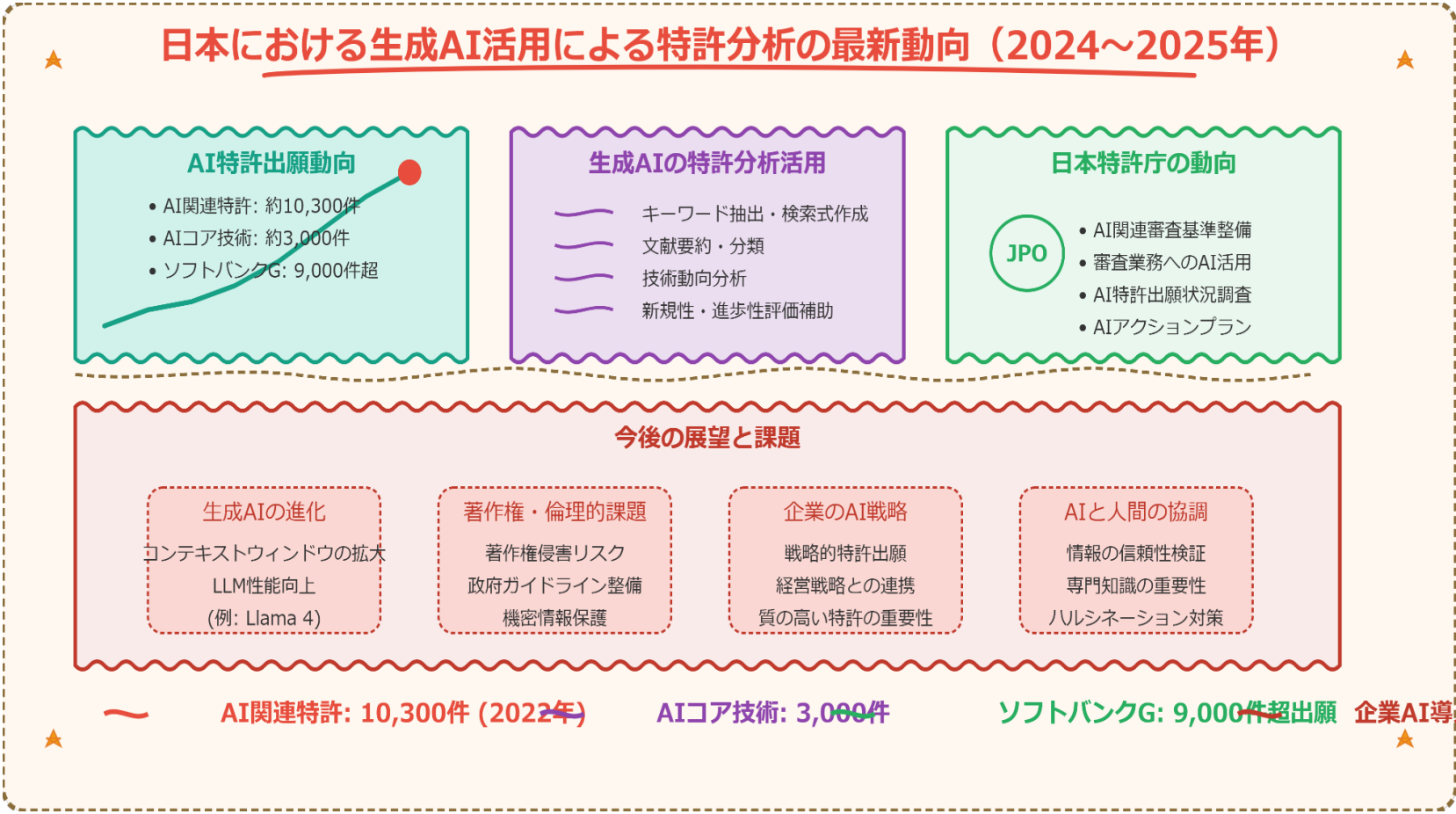


最近 1 年の日本における生成 AI 活用による特許分析の最新動向（2024～2025 年）

Felo AI



概要

2024 年から 2025 年にかけて、日本における人工知能（AI）、特に生成 AI に関連する特許出願は急増しており、それに伴い特許分析の分野でも生成 AI の活用が注目されています。ソフトバンクグループを筆頭に、企業による生成 AI 関連技術の特許出願が活発化しており、その技術範囲は自然言語処理、画像認識、AI アルゴリズムの最適化から、金融、ヘルスケア、モビリティなど多岐にわたります。特許調査の効率化やコスト削減を目的として、生成 AI を用いた特許分析ツールや手法が登場し、キーワード抽出、技術動向分析、新規性調査などへの応用が進んでいます。日本特許庁（JPO）も

AI 関連発明の審査基準を整備し、審査業務への AI 活用を推進しています。今後、生成 AI モデルの進化とともに、特許情報の戦略的活用における AI の役割はますます重要になると予想されます。

詳細レポート

日本における AI 及び生成 AI 特許の出願動向

AI 関連特許全般の増加 日本における AI 関連発明の特許出願件数は、2014 年以降急激に増加しており、2022 年には約 10,300 件に達しました [3 4 6](#)。このうち、AI の基盤技術にあたる「AI コア技術」（FI 分類：G06N）が付与された出願は約 3,000 件で、依然として増加傾向にあります [3 4 6](#)。特に深層学習（ディープラーニング）技術が、AI 関連出願の急増を牽引しています [6](#)。JPO の報告によると、AI 関連発明の主分類としては、G06N（AI コア技術）以外では G06T、G06V（画像処理・認識）が最も多く、AI 技術の適用先が拡大していることが示唆されています [3 39 40](#)。

*図 1: AI 関連発明の国内出願件数の推移 (出典: 日本特許庁)[39 40](#) *

生成 AI 関連特許の急増と主要プレイヤー 2022 年末の ChatGPT 公開などを契機とした世界的な生成 AI ブームは、日本の特許出願動向にも大きな影響を与えています [42](#)。生成 AI 関連の特許出願件数は 2022 年から 2023 年にかけて劇的に増加し、ピークに達しました [42](#)。WIPO のレポートによると、世界の生成 AI 関連特許ファミリー数は 2014 年の 733 件から 2023 年には 14,000 件以上に増加しています [17 43 44](#)。日本国内でも、2023 年 7 月から 2024 年 6 月の間に公開された生成 AI 関連日本特許出願は 297 件に上り、ビズリーチなどが目立つ出願人として挙げられています [41](#)。

特にソフトバンクグループは、生成 AI 関連の特許出願を極めて積極的に行っており、2023 年には 9,000 件を超える驚異的な数の出願を行い、日本の生成 AI 関連特許ランドスケープにおいて支配的な影響力を持っています [42 54 58](#)。孫正義氏自らが発明者として多数の特許出願に関与していることも報じられています [59 60 62](#)。ソフトバンクグループの出願内容は、自然言語処理、画像認識、生成 AI アルゴリズムの最適化、AI による金融市場予測といった AI コア技術に加え、通信技術、自動運転、エネルギー管理、ヘルスケア、メタバース、セキュリティ、金融、広告など、極めて多岐にわたる

応用分野をカバーしています [59 70](#)。これらの出願には、「感情エンジン」と称されるユーザーの感情解析・対応機能や、UI/UX の革新、コミュニケーション支援、業務効率化、エンターテインメントコンテンツ生成、社会課題解決型の技術などが含まれています [59](#)。

2025 年 4 月には、ソフトバンクグループの特許出願が 2 日間で 3500 件超公開されるなど、その出願活動は継続しています [54 64](#)。これらの特許は、生成 AI を核としつつ、ユーザーの感情解析や多様な分野への AI 適用を組み合わせたものが特徴です [59](#)。

*図 2: 生成 AI 関連特許出願の時系列分析 (出典: note 記事、Gemini 2.5 Pro による分析)[42](#) *

特許分析における生成 AI の活用

特許調査の効率化とコスト削減 従来、多額の外注コストや人的リソースが必要だった特許調査において、生成 AI の活用による効率化とコスト削減が期待されています [10 35](#)。先行技術調査、侵害予防調査、無効資料調査、技術動向調査など、特許調査の各段階で生成 AI の活用が進んでいます [10](#)。例えば、先行技術調査では、発明の複雑性や技術分野の広さによって費用が変動しますが、生成 AI を用いることでこれらの分析にかかるコストを低減できる可能性があります [10](#)。

生成 AI を用いた特許分析ツールと手法 簡単な入力からウェブ情報と特許情報を段階的に調査・分析するエージェント型の「生成 AI 特許分析 GPTs」のようなツールも登場しています [12 36](#)。これにより、専門家でなくても高度な特許分析を行える可能性が広がっています。具体的な活用事例としては、以下のようなものが挙げられます。

- **キーワード抽出・検索式作成:** 特許文献から重要なキーワードを自動抽出し、効果的な検索式を作成する。
- **文献要約・分類:** 大量の特許文献を短時間で要約し、関連技術ごとに分類する。
- **技術動向分析:** 特許出願状況から特定技術分野のトレンドや競合他社の動向を把握する。
- **新規性・進歩性の評価補助:** 出願予定の発明と先行技術との比較検討を支援する。
- **クレームチャート作成支援:** 特許侵害訴訟などに必要なクレームチャートの作成を効率化する。

学術機関でも、機関リポジトリへの研究データメタデータ登録において ChatGPT を活用した事例が報告されており、特

許情報分析への応用も期待されます [2](#)。また、特許調査への生成系 AI の活用検討に関する研究も進められています [20](#)。

企業における生成 AI 導入と活用 企業における生成 AI の導入も進んでおり、2025 年 1 月の調査では約 6 割の企業が生成 AI を利用していると回答しています [21](#)。最も導入が進んでいる部署はシステム開発・IT サポートで、利用されている生成 AI としては ChatGPT、Microsoft Copilot、Gemini が上位を占めています [21](#)。このような企業における AI 活用の広がりは、特許戦略や分析手法にも影響を与えると考えられます。国内電通グループは、独自の AI 戦略「AI For Growth 2.0」を発表し、AI エージェントがマーケティングの全工程をサポートする体制を構築するなど、AI ネイティブ化を加速させています [16](#) [38](#)。

日本特許庁（JPO）の動向

日本特許庁（JPO）は、AI 技術の急速な進展に対応するため、様々な施策を進めています。

- **AI 関連発明の審査基準・事例公開:** JPO は AI 関連発明に関する審査基準や具体的な審査事例を公開し、出願人や代理人の便宜を図っています [3](#) [5](#) [39](#)。2025 年の日本の特許実務においては、AI、審査の迅速化・質の向上・効率化、経済安全保障の 3 つの観点が重要とされています [5](#) [11](#) [27](#)。
- **審査業務への AI 活用:** JPO は、特許審査や商標審査といった審査業務の効率化・高度化を目指し、AI 技術の活用を積極的に進めています [19](#) [31](#)。2024 年度の「AI 技術活用アクションプラン」改訂版では、アジャイル開発プロセスが示されています [19](#) [31](#)。
- **情報提供:** JPO は定期的に AI 関連発明の出願状況調査結果を公表し、最新トレンドに関する情報を提供しています [3](#) [4](#) [6](#)。2024 年 10 月（または 12 月）に更新されたレポートでは、2022 年までの出願データに基づいた分析が示されています [3](#) [33](#) [39](#)。

*図 3: AI 関連発明の主分類内訳 (2022 年時点、出典: 日本特許庁)[39](#) *

今後の展望と課題

生成 AI の進化と特許分析への影響 米 Meta 社が 2025 年 4 月に公開した新 AI モデル「Llama 4」のように、コンテキストウィンドウが大幅に拡大した大規模言語モデル（LLM）が登場しており、これにより RAG（検索拡張生成）が不要になるケースが増えるなど、情報活用のあり方が大きく変わる可能性があります [8 25](#)。このような生成 AI の進化は、特許分析の精度や効率をさらに向上させることが期待されます。2025 年は、生成 AI の革命が定着する元年とも言われ、技術的な進化トレンド、主要プレイヤーによる最新モデル、産業別の具体的な活用事例が注目されています [14 23](#)。

著作権・倫理的課題への対応 生成 AI の開発と利用が拡大する中で、著作権侵害のリスクや倫理的な問題が顕在化しています [9 13 15](#)。日本政府も AI 開発者向けのガイドラインを整備するなど、法整備やルール作りに取り組んでいます [9 15 24](#)。特許情報という機密性の高い情報を扱う特許分析においても、これらの課題への適切な対応が求められます。

日本企業の AI 戦略と知財戦略 多くの日本企業が AI 活用を本格化させており、AI をビジネスにどう活かすかが議論の中心となっています [16 18 21](#)。特許分析においても、単なる調査業務の効率化に留まらず、経営戦略や事業戦略に資する知見を得るための戦略的な AI 活用が重要になります。ソフトバンクグループのような積極的な特許出願戦略は、他の企業にとっても参考となる可能性があります、同時に質の高い特許の重要性も指摘されています [61](#)。

特許分析における AI 活用の深化 今後は、生成 AI を活用して発明のアイデア創出を支援したり、より高度な技術予測や競合分析を行ったりするなど、特許ライフサイクル全体にわたる AI の活用が進むと考えられます。一方で、AI が出力する情報の信頼性（ハルシネーションなど）や、分析結果の解釈には依然として人間の専門知識が不可欠であり、AI と人間の協調が重要となります。

要約

2024 年から 2025 年にかけて、日本では生成 AI 関連の特許出願が著しく増加し、特にソフトバンクグループによる大規模かつ広範な出願活動が目立っています。この動向を受け、特許分析の分野でも生成 AI の活用が急速に進んでおり、調査の効率化、コスト削減、新たな知見の発見が期待されています。日本特許庁も AI 技術の進展に対応した審査体制の整備や情報提供を進めています。今後、生成 AI モデルのさらなる進化が見込まれる一方で、著作権や倫理的課題への対応、そして AI と人間の専門家との効果的な協調が、特許情報を最大限に活用するための鍵となるでしょう。日本企業にとっては、AI を組み込んだ知財戦略の構築がますます重要になっています。

1. [AI Patents by Country Revealed: The Top 15 Nations ...](#)
2. [74 巻（2024） Special Issue 号 — 情報の科学と技術](#)
3. [Recent Trends in AI—related Inventions | Japan Patent Office](#)
4. [AI 関連発明の出願状況調査 | 経済産業省 特許庁](#)
5. [Japan: AI becomes key focus as patent office streamlines ...](#)
6. [スタートアップ必見！特許庁が発表した「AI 関連発明の出願 ...](#)
7. [Status survey of AI—related applications by JPO](#)

8. [進化が「速すぎる」生成 AI、日本企業はシステムを常に ...](#)
9. [Japan's Approach to AI Regulation in 2025 — MoFo Tech](#)
10. [特許調査の費用軽減 | 生成 AI がもたらす効率化と省コスト化](#)
11. [AI becomes key focus as patent office streamlines prosecution ...](#)
12. [生成 AI 特許分析 GPTs の使い方 — note](#)
13. [Trade Marks & Copyright 2025 — Japan — Global Practice Guides](#)
14. [2025 年 最新生成 AI モデルの進化と今後の展望：革命の定着元年](#)
15. [Japan Signals Potential Copyright Law Revisions in ...](#)
16. [国内電通グループ、AI ネイティブ化を加速する独自の AI 戦略 ...](#)
17. [WIPO Issues a Patent Landscape Report on Generative AI](#)
18. [“AI でいいや”が 8 割超！『2025 年最新・企業の生成 AI 利用実態 ...](#)
19. [Advancements in Trademark Examination Using AI by the ...](#)
20. [74 巻（2024）Special Issue 号 — 情報の科学と技術](#)
21. [“AI でいいや”が 8 割超！『2025 年最新・企業の生成 AI 利用実態 ...](#)
22. [AI Patents by Country Revealed: The Top 15 Nations ...](#)
23. [2025 年 最新生成 AI モデルの進化と今後の展望：革命の定着元年](#)
24. [Japan Signals Potential Copyright Law Revisions in ...](#)
25. [進化が「速すぎる」生成 AI、日本企業はシステムを常に ...](#)
26. [Trade Marks & Copyright 2025 — Japan — Global Practice Guides](#)
27. [Japan: AI becomes key focus as patent office streamlines ...](#)
28. [Status survey of AI—related applications by JPO](#)
29. [AI becomes key focus as patent office streamlines prosecution ...](#)
30. [スタートアップ必見！特許庁が発表した「AI 関連発明の出願 ...](#)
31. [Advancements in Trademark Examination Using AI by the ...](#)
32. [AI Trends for 2025 — Has AI Put Japan's Startup Scene on the ...](#)
33. [Recent Trends in AI—related Inventions | Japan Patent Office](#)
34. [Japan's Approach to AI Regulation in 2025 — MoFo Tech](#)
35. [特許調査の費用軽減 | 生成 AI がもたらす効率化と省コスト化](#)
36. [生成 AI 特許分析 GPTs の使い方 — note](#)
37. [AI 関連発明の出願状況調査 | 経済産業省 特許庁](#)
38. [国内電通グループ、AI ネイティブ化を加速する独自の AI 戦略 ...](#)
39. [Recent Trends in AI—related Inventions | Japan Patent Office](#)
40. [AI 関連発明の出願状況調査 | 経済産業省 特許庁](#)

41. [弁理士大谷 on X: "【生成 AI 関連日本特許出願動向】 2023 年 7 月 ...](#)
42. [ソフトバンクグループを含めた生成 AI 関連出願全体（11111 件 ...](#)
43. [Top Generative AI Trends from the Patent Landscape Report](#)
44. [Generative AI: Trends, Industry Applications and IP Protection](#)
45. [WIPO の生成 AI に関する特許出願動向レポートの概要](#)
46. [AI Patents by Country Revealed: The Top 15 Nations ...](#)
47. [Recent Trends in Business – Related Inventions | Articles](#)
48. [AI 活用企業必見！AI 関連発明の特許出願動向を解説](#)
49. [China leads U.S. in AI patent volume in 2024 but lags in citations](#)
50. [Japan: frequency of using generative AI at work by industry 2024](#)
51. [生成 AI 特許コンサルティング – 河野特許事務所](#)
52. [Japan: number of AI – related patent applications – Statista](#)
53. [Status survey of AI – related applications by JPO](#)
54. [ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開、発明の名称 ...](#)
55. [AI 関連発明の出願状況調査 | 経済産業省 特許庁](#)
56. [Recent Trends in AI – related Inventions | Japan Patent Office](#)
57. [Japan: AI becomes key focus as patent office streamlines ...](#)
58. [全社員発明者時代の到来？生成 AI がもたらす出願革命](#)
59. [テック起業家のあなたに。特許出し過ぎ！ソフトバンク ... – note](#)
60. [Masayoshi Son is all – in on AI – Light Reading](#)
61. [AI patent quality drives returns more than volume in 2024 | Brian K ...](#)
62. [孫正義氏発明の「キラー特許」について – Yahoo！ニュース](#)
63. [孫正義氏の特許大量出願が話題に、知財業界の生成 AI 活用を展望](#)
64. [ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開、発明の名称 ...](#)
65. [SoftBank Group Patents Key Insights & Stats](#)
66. [SoftBank's Japanese consulting unit aims to 'prove' AI can ...](#)
67. [SoftBank Corp.'s 38th Annual General Meeting of Shareholders](#)
68. [生成 AI で孫正義社長が発明者である特許を特許情報分析して ...](#)
69. [JP2025050195A – system – Google Patents](#)
70. [ソフトバンク G、2 日で特許 3500 件超公開！発明の名称から ...](#)
71. [JP2025051526A – system – Google Patents](#)
72. [As AI Patents Surge, USPTO Issues New Guidance – Lexology](#)
73. [Risk Factors | SoftBank Group Corp.](#)

